

## 第2章 新聞の面種と外来語

桐生 りか

### 1 はじめに

新聞は、政治経済から国際情勢、スポーツ、家庭、芸能……と幅広いジャンルの記事を収録したものであり、それらのジャンルは、紙上では「面種」によって区別されている。本研究では、外来語の使用実態を面種ごとに考察し、それを通じて面種それぞれの特徴を明らかにしたい。

本稿では、まず、カタカナ文字の分量を手がかりに、各面種で使用される外来語の量の多寡を確認する。その後、各面種の高頻度外来語からその面種に特化して使用される「特徴語」を抽出し、それぞれの面種について、高頻度外来語に特徴語がどの程度含まれるのか、特徴語のうちその面種以外では多用されない面種専用の特徴語がどの程度含まれるのか、という二つの考察を行い、各面種の特徴を求める。

### 2 「CD-毎日新聞」の面種と大きさ

はじめに本研究で使用する新聞記事データの概要を述べる。本研究で使用するのは、「CD-毎日新聞」(日外アソシエーツ) 1994年～2003年の10年分に収録される記事データのうち、大阪版の記事を除いた東京版の記事全文(総文字数452,307,833)である。「CD-毎日新聞」では、収録記事それぞれに、掲載された「面種」の情報が付与されている。1994年～2003年の毎日新聞(東京版)に設定されている面種は、以下の16面種である。

一面	二面	三面	スポーツ	家庭	科学	解説	経済
芸能	国際	社会	社説	総合	特集	読書	文化

これら16の面種それぞれの新聞全体に占める割合を10年分の総文字数によって求めると、図1のようになる。

割合の大きい面種は、日々の朝夕刊に複数ページずつ設けられている「総合」(14.9%)「スポーツ」(14.4%)、「社会」(13.9%)の三つである。続く「国際」(8.5%)との間には5%以上の開きがあり、その大きさが注目される。反対に最も小さい面種は「科学」(0.9%)であり、次いで「読書」(2.0%)、「文化」(2.3%)、「芸能」(2.9%)の順であった。最も大きい「総合」と最も小さい「科学」では、文字数にして63,274,494もの開きがあり、「総合」の大きさは「科学」の17倍近くに相当するという結果となった。

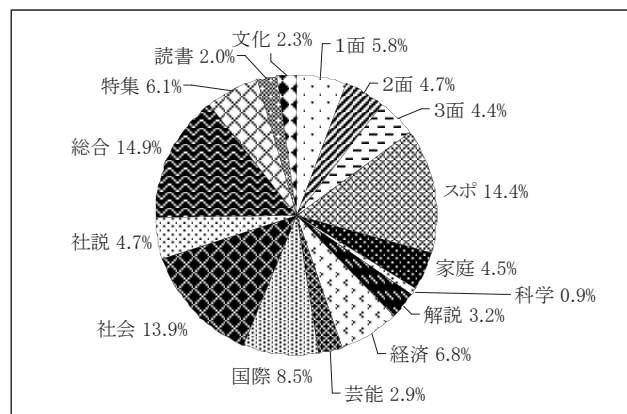


図1 新聞に占める各面種の割合 (文字数)

以上が新聞記事データの概要である。以下、この16の面種について、外来語の使用実態から考察を行う。

### 3 各面種に含まれる外来語の分量

まずは面種ごとに、含まれる外来語の量を考察したい。新聞の語すべてについて語種を判別することは困難であるため、ここでは面種ごとにカタカナ文字数を計測した。カタカナで表されるものには、和語や漢語のカタカナ表記や記号として使われるカタカナもあり、一概に「カタカナ表記の語=外来語」とはいえない。また、一語に含まれる文字数はさまざまであり、「文字数の多さ=語の多さ」と単純に考えることもできない。しかし、外来語の多さはカタカナ文字の多さに概ね反映されるものと考え、ここでは各面種

の外来語量の目安として、カタカナ文字の計測結果を掲げる。

各面種に含まれる文字をその字種から、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・その他に区分し、それぞれについて各面種の総文字数に占める割合を示すと図2のとおりであった。カタカナ文字の割合の多い順に示す。なお、字種のうち「その他」は記号や空白などである。

総文字数に占めるカタカナ文字の割合は、新聞全体の平均では9.4%であった。これを上回ったカタカナ文字の多い面種は、「スポーツ」(15.1%)、「芸能」(13.9%)、「国際」(13.1%)、「総合」(10.0%)、「科学」(9.5%)の五つである。ほか11面種はカタカナ文字の割合が平均以下であるが、中でも特に少ない面種が「二面」(4.0%)、「社説」(4.5%)である。これらは新聞の平均の半分にも満たないという結果であった。

先に述べたとおり、「スポーツ」と「総合」「社会」は、新聞に占める面種の割合が最も大きい面種であり、それぞれの割合は「スポーツ」(14.4%)、「総合」(14.9%)、「社会」(13.9%)とさほどの開きがない。しかしカタカナ文字数を見ると、「スポーツ」は「総合」の1.47倍、「社会」の2.24倍と大きく引き離しており、このことから、新聞全体で見た場合に「スポーツ」の外来語の比率が高いことが推測できる。

#### 4 各面種における高頻度外来語と特徴語

##### 4.1 各面種の高頻度外来語

以下では、面種ごとに出現頻度の高い一定数の外来語(高頻度外来語)を取り出し、考察を行う。考察に先立ち、高頻度外来語の抽出方法を示す。

まず、「CD-毎日新聞」1994年～2003年(東京版)から、以下の基準によってカタカナと一部の記号から成る2文字以上の文字列を、各面種における出現頻度の情報とともにすべて抽出した。

文字列抽出基準(正規表現) : [ァ-ヴ][ァ-ヴー・]\*[ァ-ヴー]

次に、抽出結果をもとに各面種ごとに出現頻度の高い順に1000語を取り出し、そこからカタカナ表記された和語・漢語、語の断片などを除外した。さらに、分析は一般語<sup>1</sup>のみを対象に行うこととし、固有名詞<sup>2</sup>も除外した。これにより各面種の高頻度外来語(一般語のみ)が抽出されたが、過程において面種によって語数がばらついたため、面種ごとに出現頻度の高い順に500語程度<sup>3</sup>を取り出し、それらを分析対象と定めた。以下「高頻度外来語」とは、この各面種500語程度の語群を指す。

なお、ここで、「国際」における固有名詞の多さについて特記する。図3は各面の頻度順上位1000語に占める一般語と固有名詞の割合を示したものであるが、これを見ると、他面種と比べて「国際」における固有名詞の割合が極端に多いことが分かる。外国の人名・地名・組織名が頻出する「国際」ならではの現象で、このことは「国際」の第一の特徴といえよう。

以下の分析では、「国際」に関してはこの「固有名詞を多量に含む」という特徴を適宜考慮することとする。なお、他面種は固有名詞の影響が「国際」ほど顕著ではないため、特に考慮はしない。

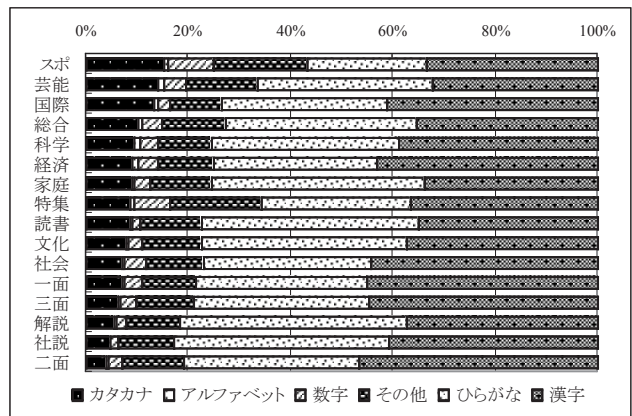


図2 各字種の割合

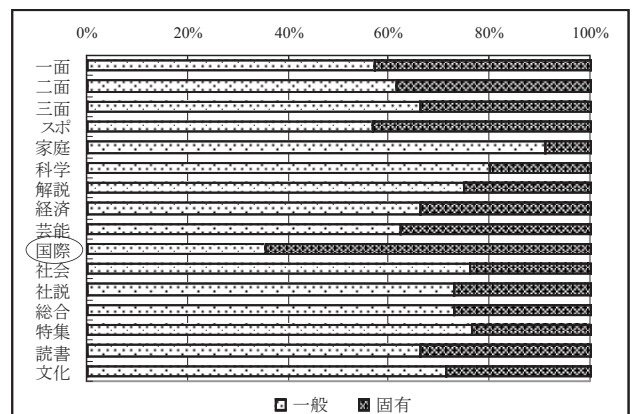


図3 上位1000語中の一般語と固有名詞の割合

## 4.2 各面種の特徴語とその割合

各面種の高頻度外来語の分析に際しては、各語のその面種における特化係数を用いる。

ここで、面種  $j$  における語  $i$  の特化係数とは、語  $i$  の新聞全体に占める割合を標準とした場合に、面種  $j$  に占める語  $i$  の割合が標準の何倍に相当するかを算出したもので、以下のように定義される。

$$\text{面種 } j \text{ における語 } i \text{ の特化係数} = \frac{\text{面種 } j \text{ における語 } i \text{ の割合}}{\text{新聞全体における語 } i \text{ の割合}}$$

したがって、特化係数が1に近ければ近いほど、その面種  $j$  における語  $i$  の使われ方は標準的であり、1より大きければ大きいほど、語  $i$  は面種  $j$  に特化して使用される特徴的な語と考えられる。本研究では、特化係数2以上の語を特にその面種を特徴づける「特徴語」と定め、分析を進める。

分析に先立ち、各面種の特徴語例を特化係数の高い語から順に20語ずつ掲げる。( )内の数値は特化係数である。これらはその特化係数の高さから、特徴語の中でも最もその面種に特化した専門的な語とすることができる。中でも「科学」は特化係数の極端に高い特徴語が多く、特徴語の専門性の高さが非常に顕著な面種である。

各面種の特徴語 (特化係数順, 上位20語)

**一面：** クローズアップ(4.56) シーリング(4.38) ミニマム・アクセス(4.29) ブリッジバンク(4.19) コミュニケ(4.17) ソリブジン(4.13) ソナー(3.89) ピコグラム(3.71) ファイナンス(3.71) ノンバンク(3.63) ヘリポート(3.38) リバート(3.33) ヘクトパスカル(3.33) ドル(3.21) ハイテク(3.19) ヘリ(3.14) ガット(3.13) ワラント(3.09) イージス(3.01) メーカー(2.99)

**二面：** ヘルスクラブ(15.81) ローカルパーティー(15.03) シャドーキャビネット(15.00) パーシャル(13.43) オペレーションルーム(11.54) ピケ(10.66) ランダム・デジット・サンプリング(10.53) クエスチョンタイム(10.14) シベリアン・コントロール(9.58) キャスティングボート(9.09) シリウス(9.02) リベラル(8.48) オフレコ(7.14) ワーキングチーム(6.72) フリーハンド(6.47) ヘリポート(6.25) アクションプログラム(6.00) プロジェクトチーム(5.82) ニューリーダー(5.67) トップダウン(5.62)

**三面：** ベア(7.26) ベクレル(6.88) ベアゼロ(6.47) ベースアップ(6.27) ドナーカード(6.19) ベクター(6.04) ミリシーベルト(5.57) プルサーマル(5.52) ベビーブーム(5.22) フロン(5.04) メタン(4.94) アセス(4.89) ゴールドプラン(4.73) マグマ(4.68) ヒトゲノム(4.66) クローン(4.61) イージス(4.57) ミンククジラ(4.55) アジェンダ(4.53) ゲノム(4.24)

**スポーツ：** インブリード(6.89) ホームチーム(6.83) ラインアウト(6.76) ハンデ(6.76) スライダー(6.75) コールド(6.74) シンカー(6.73) ノーボギー(6.73) ダート(6.67) ジャーク(6.67) ロングボール(6.66) パスミス(6.65) カヤックシングル(6.64) センタリング(6.64) セットプレー(6.62) ベストスコア(6.59) バックスクリーン(6.59) チェンジアップ(6.59) スナッチ(6.58) スクイズ(6.54)

**家庭：** カラープランナー(22.34) オーガニック(18.45) プランター(15.05) ビスフェノール(13.19) パセリ(13.09) フローリング(12.58) フライパン(12.00) フタル(11.99) ファンデーション(11.91) ステロイド(11.70) キロカロリー(11.58) ピーマン(11.55) エストロゲン(11.54) オープン(11.31) アイロン(11.17) ドレッシング(11.14) ボランティアセンター(10.98) ブロッコリー(10.98) コープ(10.90) ケアマネジャー(10.78)

**科学：** レプチン(88.51) ポスドク(88.10) フラーレン(84.62) ダークマター(80.92) アクチン(74.68) バイテク(63.22) スニップ(60.24) マイクロマシン(59.61) インフレーション(56.90) カーボンナノチューブ(55.66) バースト(53.55) ファクトリー(52.16) アースデイ(51.58) フラクタル(50.33) トップクオーク(49.21) ヒト・ゲノム(48.77) グリア(47.09) ナノメートル(44.96) ビオトープ(44.84) スペクトル(43.77)

**解説：** メールアドレス(12.69) フリースクール(8.39) アセス(5.77) ピアス(5.40) マナー(5.14) スーパーマーケット(4.81) カリキュラム(4.67) ピル(4.22) エスカレーター(4.15) サマータイム(4.14) エゴ(3.91) クーラー(3.88) フリーター(3.50) デメリット(3.04) ペースメーカー(2.96) ウォーキング(2.83) イコール(2.73) インフォームド・コンセント(2.60) レッテル(2.55) モラル(2.50)

**経済：** フラッシュメモリー(11.52) オペ(11.14) チーフエコノミスト(11.07) メガビット(11.02) チェーン

ストア(10.93) リテール(10.84) プラ(10.81) プライムレート(10.65) スポーツタイプ(10.52) ビッグスリー(10.00) ラガー(9.57) ミニバン(9.47) メガ(8.98) メモリー(8.80) パソコンメーカー(8.73) アナリスト(8.66) マネーサプライ(8.58) デリバティブ(8.42) ディーラー(8.17) シェア(8.11)

**芸能：** レイトショー(31.39) ライヴ(30.50) チェロ・ソナタ(28.47) ダブルキャスト(28.00) ピアノ・リサイタル(27.25) メゾ・ソプラノ(26.82) カンタータ(26.65) メゾソプラノ(26.45) ピアノ・ソナタ(25.63) バイオリン・ソナタ(24.77) レーベル(24.76) ヴィオラ(24.71) チェンバロ(23.81) ソプラノ(23.66) アコースティック(23.17) ドラムス(23.15) アンサンブル(23.00) サントラ(22.71) テノール(22.69) サロメ(22.61)

**国際：** ソフトマネー(10.79) ディナール(7.77) ロードマップ(7.65) モスク(7.44) カースト(7.20) ラマダン(7.13) スーパーチューズデー(7.09) レビ(6.69) ヒスパニック(6.64) ゼネスト(6.62) アファーマティブ・アクション(6.62) ルピー(6.33) プロテスタント(6.27) ペソ(6.26) メード(6.24) ジハード(6.24) ゲリラ(6.07) トロイカ(5.70) ウオン(5.52) スポークスマン(5.51)

**社会：** セット・ボックス(7.19) セット・ストレート(7.19) ナンバーズ(7.13) ボックス(6.04) ヘクトパスカル(5.15) スナック(4.86) マグニチュード(4.85) パトカー(4.79) トレーラー(4.74) シンナー(4.69) シアン(4.45) コカイン(4.40) インター(4.34) ブローカー(4.33) ホステス(4.20) ナイフ(4.19) ダミー(4.09) ワゴン(4.04) パスワード(4.01) トランク(3.82)

**社説：** ガール(10.10) マニフェスト(4.47) エゴ(4.25) モラルハザード(4.17) ワークシェアリング(3.65) モラル(3.32) サマータイム(3.31) セーフティネット(3.28) ホワイトカラー(3.12) ハッカー(2.98) トップダウン(2.79) ゴールドブラン(2.72) レジ(2.68) グローバル(2.66) ビジョン(2.60) リーダーシップ(2.56) ヒトゲノム(2.42) パート(2.38) マナー(2.36) プルトニウム(2.32)

**総合：** ディナー(5.09) ランチ(4.80) クリック(4.54) モノクロ(4.29) ハイキング(4.24) スペシャル(4.02) アナ(3.98) デザート(3.90) ハイビジョン(3.88) シェフ(3.61) ドラマ(3.55) パラエティ(3.49) バイト(3.47) クイズ(3.31) ソース(3.26) チャンネル(3.24) セダン(3.16) プレゼント(3.12) キャンパス(3.10) ワイン(3.04)

**特集：** ツーバイフォー(12.44) ポプラ(10.20) アプリケーション(9.78) モデルルーム(8.89) デビットカード(8.41) ソーラーカー(8.16) ポア(7.46) モバイル(6.84) グル(5.91) ユース(5.88) コンテンツ(5.86) ウェブ(5.86) バリアフリー(5.58) パピリオン(5.41) キッチン(5.37) バルコニー(5.27) ズーム(5.13) リビング(4.82) リフォーム(4.67) サーバー(4.61)

**読書：** ミステリ(30.64) エッセイ(29.18) パロディ(27.64) アイデンティティ(27.57) シュルレアリスム(26.00) リアリティ(25.24) ブルジョワ(25.17) ブックフェア(25.00) テクスト(24.97) パーティ(20.08) アンソロジー(19.61) ムック(17.96) コンピュータ(17.55) ペニス(17.54) ハードカバー(16.85) オールカラー(16.78) ミステリー(15.86) パーセント(14.73) ルポルタージュ(14.71) ライブラリー(14.16)

**文化：** ギャラリースペース(35.91) アートギャラリー(33.92) トリエンナーレ(32.73) アートスペース(29.87) インスタレーション(26.11) ドローイング(25.85) ギャラリー(24.48) キュレーター(22.66) サブカルチャー(21.72) キャンパス(20.73) モダニズム(19.11) ポストモダン(18.75) モノクローム(18.43) フォルム(16.02) ハイク(15.80) イラストレーション(14.76) リベラリズム(14.57) オブジェ(13.38) レリーフ(13.38) エロス(12.96)

各面種の高頻度外来語のうち、このような特徴語はどの程度を占めるのだろうか。高頻度外来語を、特化係数が2以上である特徴語と2未満である非特徴語とに区分して示したのが、図4である。図4は特徴語の割合の多い面種から順に示した。

特徴語の割合が50%を超えた面種は、「スポーツ」「芸能」「科学」「家庭」「経済」である。反対に、特徴語の割合が20%に満たない面種は、「社説」「解説」「一面」「特集」「総合」「二面」「三面」であった。ここから、前者はその面特有の外来語が多い特徴的、専門的な面種であり、後者はその面種特有の外来語が少ない平均的、一般的な面種であると考えられる。「読書」「文化」「社会」は両者の中間に位置する。

「国際」は特徴語の割合が20.5%と、特徴語の割合の低い後者をわずかに上回る程度であるが、先に述べた通り「国際」の第一の特徴が固有名詞を多量に含むことであることを考え合わせると、一概に「国際」が面種特有の語彙が少ない平均的、一般的な面種であるとはいえないだろう。「国際」の固有名詞について



も特化係数を求めたところ、その88.7%が特化係数2を超える特徴語であった。「国際」は、使用される一般語に特徴は薄い、特徴的な固有名詞を多量に含む面種といえる。

#### 4.3 各面種の面種専用の語とその割合

本研究で特徴語としたのは特化係数2以上の語、すなわち面種における割合が標準の2倍以上である語である。標準の2倍というのは極端に高い数値ではないので、語によっては特化係数が2を超える面種が複数となるものもある。そこで、特徴語となる面種の数をその語の「範囲」と考え各語について範囲を求めたところ、特徴語の範囲は最小の語で1、最大の語で5であり、面種ごとの特徴語の範囲の平均値は、表1のとおりとなった。

表1 特徴語の範囲の平均値

一面	二面	三面	スポーツ	家庭	科学	解説	経済
2.58	1.86	2.68	1.14	1.90	1.84	2.30	1.72
芸能	国際	社会	社説	総合	特集	読書	文化
1.78	1.70	1.69	2.59	2.03	2.08	2.19	2.35

「スポーツ」の平均値が、1.14と他面種と比べ極端に低い。「スポーツ」の特徴語の大多数が、範囲1、すなわち「スポーツ」のみの特徴語であることがうかがえる。反対に平均値の高い面種は「三面」「社説」「一面」などで、これらの面種に複数の面種にまたがる特徴語が多いことが推測される。

ここで範囲1の語とは、ひとつの面種でのみ特徴語となる語であり、範囲2以上の特徴語に比べて、特にその面種に特化したものと考えられる。そこでそれらを「面種専用の語」と呼び、範囲2以上の特徴語と区別して扱うこととする。各面種の高頻度外来語に占める特徴語の割合を、面種専用の語（範囲1）と範囲2以上の語とに区別して図5に示す。また、特徴語に占める面種専用の語の割合を図6に示す。

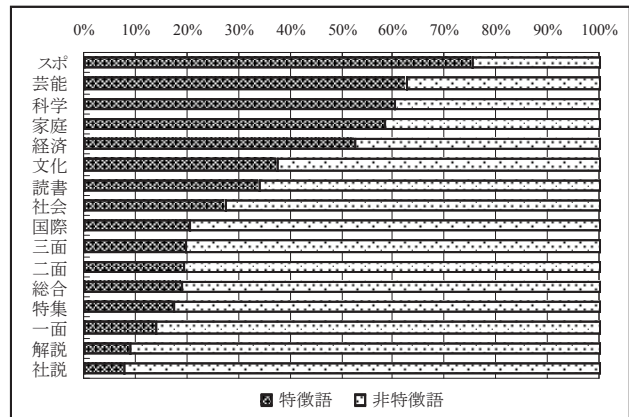


図4 高頻度外来語に占める特徴語の割合

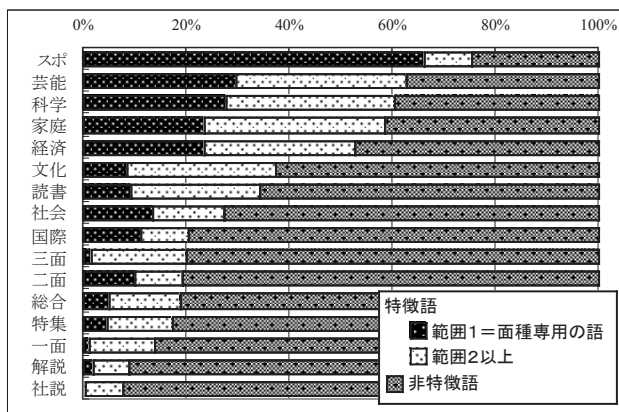


図5 高頻度外来語に占める特徴語と面種専用語の割合

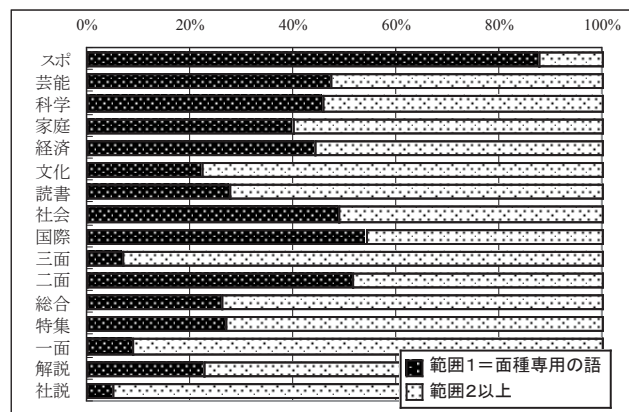


図6 特徴語に占める面種専用の語の割合

4.2で高頻度外来語に特徴語の割合が高いとした「スポーツ」「芸能」「科学」「家庭」「経済」は、面種専用の語の割合もそれぞれの特徴語の40.0%を超える高い値を示している。中でも「スポーツ」は、高頻度外来語の66.1%、特徴語の87.6%が「スポーツ専用の語」であり、他面種との比較においても、「スポーツ」が面種専用の外来語の極端に多い面種であることが分かる。

4.2において、高頻度外来語に占める特徴語の割合を中間程度とした「文化」「読書」「社会」では、「社会」に面種専用の語が48.9%と多く、30.0%に満たない「読書」「文化」と異なる傾向を示した。

「国際」以下は4.2において特徴語の割合が低いとした面種であるが、これらの中では「国際」と「二面」で面種専用の語の割合が特徴語の50.0%を超える高い値を示した。このふたつの面種は、特徴語の数は少ないが、その中に「面種専用の語」を多く含む面種であると指摘できる。残る「三面」「総合」「特集」「一面」「解説」「社説」は面種専用の語の割合が特徴語の30.0%未満と低い。中でも低いのは「社説」5.1%、「三面」7.0%、「一面」8.7%で、これらの面種では特徴語自体が少ないことに加え、「国際」「二面」とは違ってその中に面種専用の語も少ないことが指摘できる。

4.2において、高頻度外来語に占める特徴語の割合から同じグループとした中にも、「面種専用の語」の多寡の観点から以上のような違いを指摘することができた。

#### 4.4 まとめ

4.2, 4.3で述べた特徴語を通じた各面種の特徴をまとめると、おおよそ表2のようになる。総合的に見て外来語の特徴が強いと思われる面種から順に示す。各項目について、表中の「◎」は多いことを、「△」は少ないことを、「○」は「◎」と「△」の中間程度であることを表す。

表2 まとめ：各面種の特徴

	高頻度外来語に占める 特徴語の割合	特徴語に占める 面種専用の語の割合
スポーツ	◎	◎
芸能	◎	◎
科学	◎	◎
国際	○	◎
経済	◎	◎
家庭	◎	◎
社会	○	◎
二面	△	◎
読書	○	○
文化	○	○
総合	△	○
特集	△	○
解説	△	○
一面	△	△
三面	△	△
社説	△	△

表2より、「スポーツ」「芸能」「科学」「国際」「経済」「家庭」の六つの面種を外来語に強い特徴を持つ面種、「一面」「三面」「社説」の3つの面種を外来語に特徴を持たない面種と位置づけることができる。残る「社会」「二面」「読書」「文化」「総合」「特集」「解説」の七つの面種は両者の中間である。

外来語に強い特徴を持つ面種の中でも、「スポーツ」は、特徴語に占める面種専用の語の割合が他に抜きん出て高く、新聞の面種の中で最も外来語が特徴的に使われる面種であることが分かった。

## 5 おわりに

本研究では、新聞における外来語の使用実態のうち、面種に特化して使用される「特徴語」に着目し、新聞の面種の特徴を考察した。各面種の高頻度外来語に占める特徴語の割合を分析することにより、特徴語の多い面種は専門的な面種であり、反対に少ない面種は平均的、一般的な面種であるととらえることができた。また、各語の特徴語となる面種の範囲を分析することにより、その面種だけで使用される「面種専用の語」の存在を明らかにし、特に「スポーツ」は、高頻度外来語の多くを「面種専用の語」が占める

という、他の面種とは大きく異なる特徴をとらえることができた。そして、特徴語の割合と範囲の二つの分析結果を総合することで、各面種の違いを明らかにすることができた。

今回は、面種の特徴を、特徴語の割合と範囲の二点から考察したが、特化係数の分布や分散なども面種によって異なるため、今後は特化係数の高低に着目した分析なども加え、さらに面種の考察を深めていきたいと考える。

また、面種の性質は、そもそも外来語のみで語られるものではないであろう。外来語量が少なく和語や漢語の使用実態にこそ特徴の表れる面種もあると予想される。よって、今後は、外来語に限らず和語や漢語についても分析を行い、新聞の語彙全体を見通した面種の考察を進めていきたい。

なお、従来、日本語研究において新聞は、全体でひとつの言語資料としてひとくりに扱われることが多かった。しかし、本研究で示したように、面種によってその大きさや性質は大きく異なる。今後、新聞の語彙研究において、面種の違いを取り上げた議論が展開していくことにも期待したいところである。

#### 注

- 1 一般名詞用法のほか、サ変用法、ナ/イ形容詞用法を持つ語も含まれるため、ここでは「一般語」という呼び方を  
する。
- 2 「人名」「地名」「組織名」のほか、「デイキャッチ」のような記事タイトル名、「毎日コミュニケーションズ」(組  
織名)の「コミュニケーションズ」のように固有名詞の成分としてのみ使われるものなども固有名詞とした。
- 3 頻度順に500語目に当たる語と同じ頻度の語がある場合は、同頻度の語はすべて採用した。そのため面種によっ  
ては500語+ $\alpha$ の語を採用している。

#### 参考文献

- 国立国語研究所 (1970) 『国立国語研究所報告37 電子計算機による新聞の語彙調査』 秀英出版  
国立国語研究所 (1999) 『国立国語研究所報告115 テレビ放送の語彙調査Ⅲ』 秀英出版  
山崎誠 (2005) 「現在雑誌の語彙調査—ジャンルによる語の出現分布—」 語彙辞書研究会第28回発表要旨